

(別添1)

No.	26
策定年月	令和2年4月
見直し年月	令和6年12月

水田農業高収益化推進計画

京都府

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

京都府では、耕地面積約3万haのうち、約8割を水田が占め、また、中山間地域が約7割と高いことなどから、1集落当たりの耕地面積や1経営体当たりの耕地面積が小規模である。このため、これまで集落営農組織や中核的な担い手の育成と合わせて小規模な農家を含めた京野菜等の産地づくりをブランド対策と同時に進めてきたところであるが、農業者の高齢化や農業従事者数の減少等が進展し、京野菜等の産地の生産力が低下してきている。

また、京都府内の米の作付面積は減少傾向にあり、現状の米生産だけでは、農家所得を十分に確保し、将来にわたって地域農業を守っていくことは困難な状況となりつつある。

そこで、旧市町村等を単位として高収益品目転換プロジェクトチームを設置し、関係機関が一体となって収益性の高い園芸作物(高収益作物)への品目転換を図るとともに、出荷調製作業の分業化やスマート農業技術の導入等により、産地の再編強化を図り、持続的な農家所得の確保を目指す。

2. 目標

(1) 推進方針

令和2年度より九条ねぎ、花菜、玉ねぎを推進品目として位置付け、3産地で新たな産地の創出や拡大を図ってきたところ。今後の持続可能な経営を確立するため、京野菜等の園芸作物の牽引役である京のブランド産品をはじめ、地域の特性を生かす品目において、更なる生産振興、販売を強化する必要がある。今後は、市町村等での高収益品目転換プロジェクトチームの設置を進め、新たな産地づくりの取組みを積極的に推進するとともに、水稻から京野菜などの高収益作物への転換を支援し、出荷調製の下業化やICT技術の導入を通して産地の再編強化を図り、京野菜等の生産力を強化することにより、野菜産出額の増加を図る（令和3年京都府野菜算出額：248億円）

(2) 推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
九条ねぎ	生食用	露地（冬季は一部施設）	大手総合スーパーを中心に更なる増産が強く求められており、関係機関が一体となって推進している品目であるため	9 ha （令和元年）	22 ha （令和6年）	1,980 kg/10a （令和元年）	2,000 kg/10a （令和6年）	2.5億 円 （令和元年）	7億 円 （令和6年）	（令和〇年）	（令和〇年）
花菜	生食用	露地	市場評価の高いブランド京野菜の生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	3.3 ha （令和元年）	6.6 ha （令和6年）	373.9 kg/10a （令和元年）	400 kg/10a （令和6年）	12,141 千 円 （令和元年）	23,760 千 円 （令和6年）	（令和〇年）	（令和〇年）
玉ねぎ	加工・業務用	露地	ほ場整備をきっかけとして、タマネギ産地の復活を目指す取組であり、実需者からのニーズも高く、関係機関が一体となって推進している品目であるため	0.5 ha （令和元年）	1.4 ha （令和3年）	4,053 kg/10a （令和元年）	5,000 kg/10a （令和3年）	1,888 千 円 （令和元年）	7,000 千 円 （令和3年）	（令和〇年）	（令和〇年）
京みず菜	生食用	施設	市場評価の高いブランド京野菜の生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	4.3 ha （令和4年）	4.4 ha （令和9年）	1,199 kg/10a （令和4年）	1,300 kg/10a （令和9年）	29,737 千 円 （令和4年）	32,985 千 円 （令和9年）	（令和〇年）	（令和〇年）
京壬生菜	生食用	施設	市場評価の高いブランド京野菜の生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	2.5 ha （令和4年）	2.6 ha （令和9年）	1,076 kg/10a （令和4年）	1,200 kg/10a （令和9年）	17,448 千 円 （令和4年）	20,215 千 円 （令和9年）	（令和〇年）	（令和〇年）
しゅんぎく	生食用	施設	高品質なしゅんぎくを生産する歴史ある産地であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	3.8 ha （令和4年）	3.9 ha （令和9年）	248 kg/10a （令和4年）	300 kg/10a （令和9年）	7,146 千 円 （令和4年）	8,874 千 円 （令和9年）	（令和〇年）	（令和〇年）
とうがらし	生食用	施設	市場評価の高い伏見とうがらしや万願寺とうがらしといったブランド京野菜の生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	1.7 ha （令和4年）	1.8 ha （令和9年）	2,295 kg/10a （令和4年）	2,400 kg/10a （令和9年）	25,199 千 円 （令和4年）	27,863 千 円 （令和9年）	（令和〇年）	（令和〇年）

2. 目標

九条ねぎ	生食用	施設	市場評価の高いブランド京野菜の生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	1.8 ha (令和4年)	1.9 ha (令和9年)	575 kg/ 10a (令和4年)	700 kg/ 10a (令和9年)	5,832 千 円 (令和4年)	7,493 千 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ストック	切り花用	施設	高品質なストックを生産する歴史ある産地であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	0.637 ha (令和4年)	0.65 ha (令和9年)	千本 18 /10a (令和4年)	千本 18.2 /10a (令和9年)	8,234 千 円 (令和4年)	8,506 千 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
甘藍	種苗類	施設	契約栽培であり、収益性の高い取組であり、関係機関と協力しながら推進している品目であるため	1.449 ha (令和4年)	1.47 ha (令和9年)	49.1 kg/ 10a (令和4年)	50 kg/ 10a (令和9年)	26,039 千 円 (令和4年)	26,975 千 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
白菜	種苗類	施設	契約栽培であり、収益性の高い取組であり、関係機関と協力しながら推進している品目であるため	0.675 ha (令和4年)	0.685 ha (令和9年)	54 kg/ 10a (令和4年)	55 kg/ 10a (令和9年)	9,404 千 円 (令和4年)	9,758 千 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
きゅうり	生食用	露地 施設	実需者ニーズが高く収益性が高い品目として生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	(0.82) 0.75 ha (令和4年) (令和6年)	(0.86) 0.78 ha (令和9年)	3,872 kg/ 10a (令和4年) (令和6年)	(4,066) kg/ 4,065 10a (令和9年)	(10,329) 9,435 円 (令和4年) (令和6年)	(11,390) 10,401 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
九条ねぎ	加工・業務用	露地 施設	市場評価の高いブランド京野菜の生産振興を進める取組であり、関係機関が一体となって推進している品目であるため	(0.88) 1.08 ha (令和4年) (令和6年)	(0.92) 1.129 ha (令和9年)	1,439 kg/ 10a (令和4年) (令和6年)	1,510 kg/ 10a (令和9年)	(7,340) 8,976 円 (令和4年) (令和6年)	(8,088) 9,889 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)

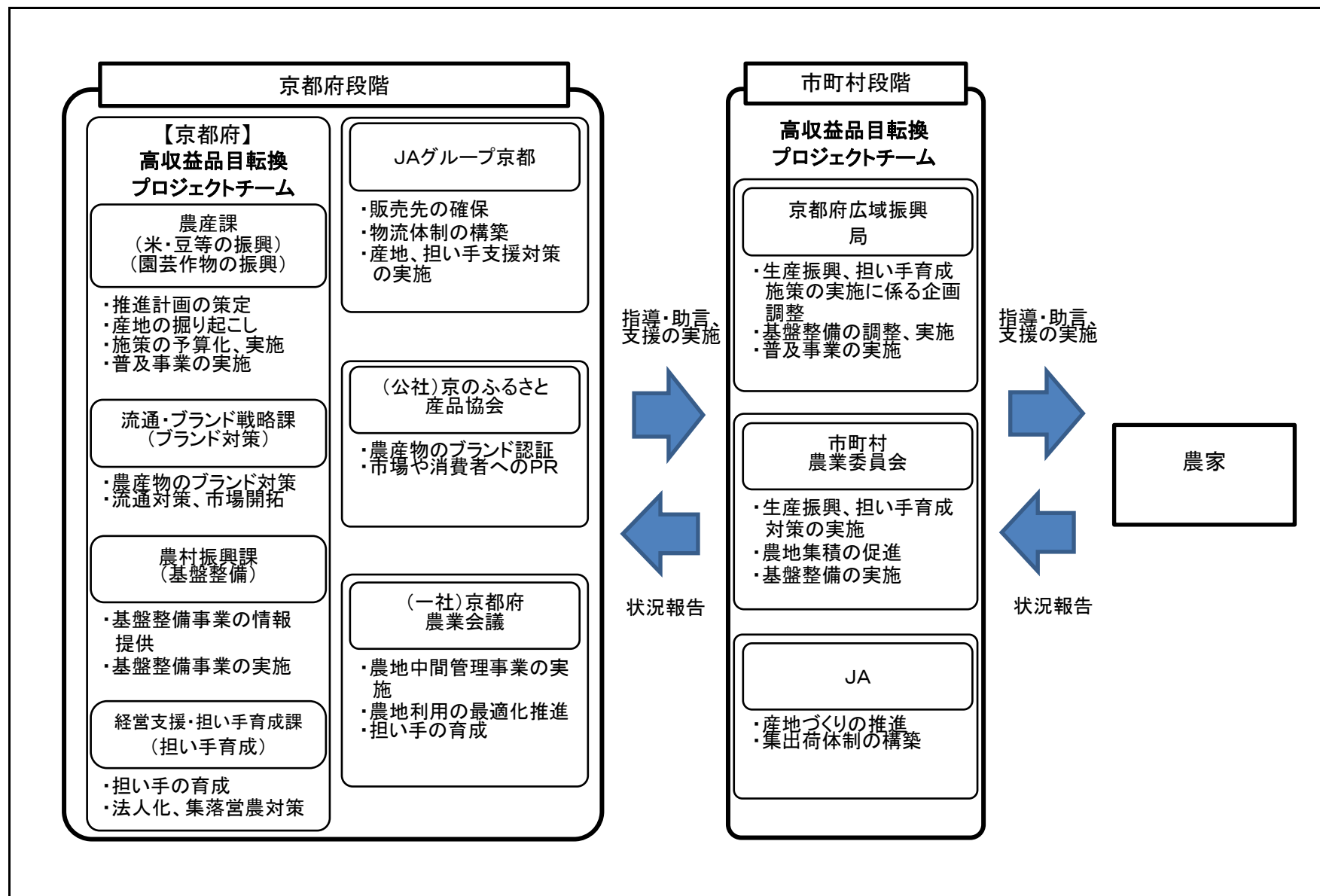
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

旧市町村等を単位として「高収益品目転換プロジェクトチーム」を設置し、産地診断や経営評価、実証活動等を通して農家への転換品目の提案を進めるとともに、必要な施設・機械等の導入により、関係機関が一体となって産地化を促進する。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
九条ねぎ	GAP取得など関係機関が一体となった産地拡大支援	害虫対策など栽培技術指導の実施	カットねぎ生産体制の強化と販路の拡大	
花菜	省力化の検討など関係機関が一体となった産地拡大支援	栽培こよみ等に基づく基本技術の徹底	販促用資材の作成、販路拡大	
玉ねぎ	機械化技術の確立など関係機関が一体となった産地拡大支援	排水対策の徹底	作付面積の拡大を通じた販路拡大	
京みず菜	省力機械化体系及び保管技術の確立に向けた実証するとともに、関係機関が一体となった作付面積の拡大促進	技術支援による安定生産	作付面積の拡大、安定生産を通じた販売額の増加を図る	
京壬生菜	省力機械化体系及び保管技術の確立に向けた実証するとともに、関係機関が一体となった作付面積の拡大促進	技術支援による安定生産	作付面積の拡大、安定生産を通じた販売額の増加を図る	
しゅんぎく	省力機械化体系及び保管技術の確立に向けた実証するとともに、関係機関が一体となった作付面積の拡大促進	技術支援による安定生産	作付面積の拡大、安定生産を通じた販売額の増加を図る	
とうがらし	省力機械化体系及び保管技術の確立に向けた実証するとともに、関係機関が一体となった作付面積の拡大促進	技術支援による安定生産	作付面積の拡大、安定生産を通じた販売額の増加を図る	

4. 目標達成に向けた取組

九条ねぎ	省力機械化体系及び保管技術の確立に向けた実証するとともに、関係機関が一体となった作付面積の拡大促進	技術支援による安定生産	作付面積の拡大、安定生産を通じた販売額の増加を図る	
ストック	作付面積を維持・拡大するとともに、収量や販売額の増加に向けた取組を推進	品質管理の改善や生産技術の向上による生産量の増加	選花機により高精度に選別できる環境を整備し、品質向上による販売額の増加を図る	
甘藍	作付面積を維持・拡大するとともに、収量や販売額の増加に向けた取組を推進	品質管理の改善や生産技術の向上による生産量の増加	蔬菜採種の品質向上による販売額の増加を図る	
白菜	作付面積を維持・拡大するとともに、収量や販売額の増加に向けた取組を推進	品質管理の改善や生産技術の向上による生産量の増加	蔬菜採種の品質向上による販売額の増加を図る	
きゅうり	作物導入が可能な新規栽培者を確保するとともに、機械化による省力化等の取組を通して面積を拡大	適正施肥、病虫害防除、適期収穫等の技術指導を行うことによる収量の向上	生産量を増やすことにより、販売額の増加を図る	
九条ねぎ	冬期に作物の導入が可能な農業者の掘り起こしにより、新規栽培者を確保するとともに、機械化による省力化、既存栽培者への早生品種の導入促進などによる作付け面積の拡大	適正施肥、病虫害防除、適期収穫等の技術指導を行うことによる収量の向上	生産量を増やすことにより、販売額の増加を図る	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	京都やましろ農業協同組合ねぎ部会	八幡市、久御山町	
2	京都やましろ農業協同組合花菜部会	宇治市、八幡市、京田辺市、井手町、南山城村	
3	亀岡市地域水田農業活性化協議会	亀岡市	
4	南丹市地域農業再生協議会	南丹市	
5	宮津市地域農業再生協議会	宮津市	
6	与謝野町農業再生協議会	与謝野町	

※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添 2)

No.	26-001
策定年月	令和 2 年 4 月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
京都やましろ農業協同組合ねぎ部会産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	京都やましろ農業協同組合ねぎ部会
構成機関・団体名及び役割分担	京都府山城広域振興局 京都府山城北農業改良普及センター 久御山町、八幡市 京都やましろ農業協同組合 農業委員会 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・部会の運営 ・施設の運営 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
九条ねぎ	生食用	露地(冬季は一部施設)	京都やましろ農業協同組合ねぎ部会	9 ha (令和元年)	22 ha (令和 6 年)	1980 kg/10a (令和元年)	2000 kg/10a (令和 6 年)	2.5億 円 (令和元年)	7億 円 (令和 6 年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添 2)

No.	26-002
策定年月	令和 2 年 4 月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
京都やましろ農業協同組合花菜部会産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	京都やましろ農業協同組合花菜部会
構成機関・団体名及び役割分担	京都府山城広域振興局 京都府山城北農業改良普及センター 京都府山城南農業改良普及センター 宇治市、八幡市、京田辺市 井手町、南山城村 京都やましろ農業協同組合 農業委員会 ・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術等の情報提供 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 ・部会の運営 ・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施 ・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
花菜	生食用	露地	京都やましろ農業協同組合花菜部会	3.3 ha (令和元年)	6.6 ha (令和 6 年)	373.9 kg/10a (令和元年)	400 kg/10a (令和 6 年)	12,140,764 円 (令和元年)	23,760,000 円 (令和 6 年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添 2)

No.	26-003
策定年月	令和 2 年 4 月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
亀岡市曾我部産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	亀岡市地域水田農業活性化協議会
構成機関・団体名及び役割分担	府関係機関 ・オブザーバー 普及センター 地域づくり推進室 (技術指導、情報提供) 亀岡市(事務局) ・事業計画のとりまとめ ・会計事務 ・支援事業の申請 JA京都 ・技術指導 ・情報提供 中間事業者 ・契約販売 ・情報提供 亀岡福祉会 ・新商品の開発

農家

・玉ねぎの生産、販売
中、南条、春日部
犬飼、寺、法貴集落
・機械体系の確立

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
玉ねぎ	加工・業務用	露地	亀岡市曾我部	0.5 ha (令和元年)	1.4 ha (令和 3 年)	4,053 kg/10a (令和元年)	5,000 kg/10a (令和 3 年)	1,888,000 円 (令和元年)	7,000,000 円 (令和 3 年)		

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

No.	26-004
策定年月	令和5年5月
見直し年月	

1 計画作成主体の情報

名称	南丹市地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	南丹市 ・計画策定の取りまとめ ・地域の合意形成の推進 南丹市農業委員会 ・農地情報の収集 京都府南丹農業改良普及センター ・栽培技術等の情報提供 ・営農指導の実施 南丹市地域農業再生協議会 ・計画策定の取りまとめ ・水田活用の直接支払交付金を活用するための実施機関 京都府南丹広域振興局農商工連携・推進課 ・計画策定の取りまとめ ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 京都農業協同組合 ・営農指導の実施 ・販売先の確保 ・支援事業の実施  農家

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
京みず菜	生食用	施設	南丹市	4.3 ha (令和4年)	4.4 ha (令和9年)	1,199 kg/10a (令和4年)	1,300 kg/10a (令和9年)	29,737,024 円 (令和4年)	32,984,640 円 (令和9年)		
京壬生菜	生食用	施設	南丹市	2.5 ha (令和4年)	2.6 ha (令和9年)	1,076 kg/10a (令和4年)	1,200 kg/10a (令和9年)	17,447,980 円 (令和4年)	20,215,008 円 (令和9年)		
しゅんぎく	生食用	施設	南丹市	3.8 ha (令和4年)	3.9 ha (令和9年)	248 kg/10a (令和4年)	300 kg/10a (令和9年)	7,145,667 円 (令和4年)	8,874,228 円 (令和9年)		
とうがらし	生食用	施設	南丹市	1.7 ha (令和4年)	1.8 ha (令和9年)	2,295 kg/10a (令和4年)	2,400 kg/10a (令和9年)	25,198,785 円 (令和4年)	27,863,160 円 (令和9年)		
九条ねぎ	生食用	施設	南丹市	1.8 ha (令和4年)	1.9 ha (令和9年)	575 kg/10a (令和4年)	700 kg/10a (令和9年)	5,832,439 円 (令和4年)	7,492,592 円 (令和9年)		

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	26-005
策定年月	令和5年5月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
宮津市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	宮津市地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	宮津市 ・支援事業等の情報提供 宮津市地域農業 ・産地交付金による産地振興 JA京都 ・生産指導 ・販売支援 丹後農業改良 普及センター ・栽培技術指導 支援 農家

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ストック	切り花用	施設	宮津市	0.637 ha (令和4年)	0.65 ha (令和9年)	18.0 千本/10a (令和4年)	18.2 千本/10a (令和9年)	8,234 千円 (令和4年)	8,506 千円 (令和9年)		
甘藍	種苗類	施設	宮津市	1.449 ha (令和4年)	1.47 ha (令和9年)	49.1 kg/10a (令和4年)	50.0 kg/10a (令和9年)	26,039 千円 (令和4年)	26,975 千円 (令和9年)		
白菜	種苗類	施設	宮津市	0.675 ha (令和4年)	0.685 ha (令和9年)	54.0 kg/10a (令和4年)	55.0 kg/10a (令和9年)	9,404 千円 (令和4年)	9,758 千円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	26-005
策定年月	令和5年5月
見直し年月	令和6年12月

水田農業高収益化推進計画
与謝野町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	与謝野町農業再生協議会		
構成機関・団体名及び役割分担	与謝野町農林環境課 ・計画策定の取りまとめ ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施 与謝野町農業委員会 ・農地情報の収集 ・農地集積、集約の推進 京都府丹後農業改良普及センター ・栽培技術等の情報提供 ・営農指導の実施(収量・品質向上) 与謝野町農業再生協議会 ・計画策定の取りまとめ ・水田活用の直接支払交付金を活用するための実施機関 京都府丹後広域振興局農商工連携・推進課 ・計画策定の取りまとめ ・支援事業の情報提供、実施 京都農業協同組合 ・販売先の確保 ・販路開拓 ・支援事業の実施 ⇄ 農家		

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
きゅうり	生食用	露地施設	与謝野町	(0.82) 0.75 ha (令和4年) (令和6年)	(0.86) 0.78 ha (令和9年)	3,872 kg/10a (令和4年) (令和6年)	(4,066) 4,065 kg/10a (令和9年)	(10,329,172) 9,435,483 円 (令和4年) (令和6年)	(11,390,159) 10,401,085 円 (令和9年)	(令和4年)	(令和9年)
九条ねぎ	加工・業務用	露地施設	与謝野町	(0.88) 1.08 ha (令和4年) (令和6年)	(0.92) 1.129 ha (令和9年)	1,439 kg/10a (令和4年) (令和6年)	1,510 kg/10a (令和9年)	(7,340,483) 8,975,503 円 (令和4年) (令和6年)	(8,088,013) 9,889,271 円 (令和9年)	(令和4年)	(令和9年)

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。
- ※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。